

技術認定チェック【三部】アンケート結果(H30.9.17) 33人中、29人回収

	所属	技術認定試験を受けて、お気づきの点	今後の要望など
1	なし	これから勉強をし、できなかった部分にもう一度チャレンジし、勉強していきたいと思いました。一つ一つクリアをしていきたいです。	
2	介護職	なにげなくやっている事、気を使っていなかったなと思うことが認定チェックの中で初めて気づく事ができた。抜けてた部分や説明不足を新たに質問してもらうことで「次から気を付けよう」と一番頭に残った。合格した部分も再チャレンジするつもりで今後も学んで周囲に伝えていきたい。	
3	福祉用具専門相談員	普段の自己研鑽では気づけなかったこともたくさんあり、大変多くの学びをいただきました。また次のフェーズに向かいながらも、日々、努力を重ねようと思います。	多くの人に伝えられる様、頑張ります。
4	福祉用具専門相談員	すごく楽しかったです。最初はどうなる事かと思いましたが、自分が技術を身につけていく事への楽しさがありました。これでスタートだと思えます。次回からはこの技術をどんどん人に伝えて努力をします。伝える能力と理屈を知る努力を怠らず、忘れないようにしていきたいと思えます。ありがとうございました。	もっと知りたいです。少しでも身につけたいと思えます。また、復習の為に何回か来たいと思えます。ありがとうございました。
5	介護職	チェッカーの方々が休みなく認定してくださり大変だったと思えます。技術不足等の点をポイントで教えていただき忘れないようにしたいです。	
6	ケアマネ	今回受講させて頂き本当にありがとうございました。また、数か月に渡り、勉強会・練習の機会・場所・物品、何より先生方の貴重なお時間を作ってくださいありがとうございました。大山さん本当にありがとうございました。チェックを受けさせていただくにあたり、体の使い方、何のために抱え上げないケアを行うかを学び練習してきたつもりでした。今回先生方に助言いただいたことは、この認定は人に伝えるためのチェックとのことで、声の大きさ、見せ方、説明の仕方、何のためにするのかをもっと意識するようにとのことでした。まだまだ合格ではないと自覚しておりますので、佐賀県の目標、まずは自分のそのためにできる小さな目標を立てて確実に取り入れ、取り組みます。	今回の認定チェックがまた新たな始まりだと思っています。今後も技術の確認、また、抱え上げないケアのマネジメントの仕方を学ぶ機会があればありがたいです。ぜひたく言ってすみません。モデル施設のマネジメントの仕方などはかなり計画的に行う必要があると思えました。
7	リハ職	すごく密に用意がされているのにびっくりでした。おつかれ様です。私たちは受講生だけなのでこれまでの準備が大変だったろうと思うと、ありがとうございました。	
8	介護職	チェッカーの先生方に緊張をほぐす声かけをして頂き少しだけリラックスできました。できている部分にはさらにプラスになるアドバイスを頂けたのが、とてもうれしくこれからも常に勉強していこうという意欲がわいてきました。	
9	リハ職	認定チェックを受けるためにきちんと項目にそって練習したことが伝え方を統一するためには必要な事だったと思えます。一つ一つチェックしていただく事で、自分では気づけていない所が分かり、伝えための「見せ方」言葉で伝えるだけでなく体の動きも正しく見せることの大切さを痛感しました。実際に伝える立場になることも増えてきたので、責任の重大さを肝に銘じて大切に伝えていけるようになりたいです。	この利用者にも介助者にも大切な技術を理解して、使ったいただけるようには、受け入れる施設、介助者の意識をマネジメントすることが、必要になってくると思うので、マネジメントするスキルを上げていけるような研修も受けていきたいです。
10	介護職(管理者)	自分が理解できていないことが十分わかりました。もう一度チャンスがあるとうれしかったです。	早くお役に立てる人材になりたいです。
11	介護職	緊張感があり、自分の苦手な所が分かり、そこに気を付けながらする事ができた。人に伝える事の難しさが分かりました。	
12	リハ職	自分の技術不足、粗雑さ、また伝え方の粗さのたくさんの点に指摘をいただき本当に学びになりました。また、用具やその技術を使う目的を伝える大切さも加えて強く強く感じました。下元先生、海尾先生、またチェッカーの方々の対象者に対する「尊厳を守る」という姿勢を強く強く感じ、絶対自分もそうしたいと思えましたし、それをきちんと伝えます。まだまだ伝え方や技術が抜け落ちてしまうことがないように経験を積みます。	伝え方を経験する場所があれば、たくさん経験させてください。また、今回は基本の技術があるので、応用の技術の学びの場があれば学ばせてください。また、高知のカリキュラムのようにそのほかのあらゆる項目も学びたいと思えます。運営された大山さん、坂田さん、そして下元先生、安武先生、そしてチェッカーのみなさま、本当に本当にお疲れさまでした。皆様に感謝いたします。
13	ケアマネ(管理者)	認定の初日は頭が真っ白になるなど緊張しましたが、不合格になってフィードバックをしていただいたポイントがとても役に立ち、新たに挑戦する際にとても役に立ちました。講師の先生の方々には、感謝しかありません。本当にありがとうございました。今回黒子として一番苦労された大山事務局長、坂田先生に本当にありがとうございました。	今後も引き続き技術の研鑽をしていきます。今後も宜しくお願いします。
14	福祉用具専門相談員(課長)	講師の皆様へ大変お世話になりました。自分で自身がある項目でも、自裁はできていない為、一からやり直すつもりで取り組んでいきたいと思えました。	
15	リハ職	事前の勉強会などが企画されて助かりました。足りない部分や気づいていないことが多くあり、勉強になりました。(特にハンドリングや重さの移動について)	実際に行っている施設などでの見学会
16	リハ職	手順をしっかりイメージしていないとなかなか難しいと感じました。自分の言葉で分かりやすく説明できるようにしていきたいと思えます。	
17	リハ職	自分のしゃべりにくせがある(いいなあ・)。間違ったときにあせる(不良姿勢になっている)。チェックしてもらえてよかったです。	技術を現場に落とし込むむずかしさ。
18	ケアマネ(管理者)	自分のできていない所の把握が出来、すごく勉強になりました。	
19	看護職(主任)	一つ一つ丁寧に出来ていなかったポイントを説明指導頂ただけました。自分の課題として、実践していきたいです。ありがとうございました。毎月、毎回練習の場も作っていただき本当にありがとうございました。	今回の技術認定試験を通して、本当に必要な事は、手順や技術だけではなく、対象の方、利用者の方が快適に過ごしていただけるようサポートすることを心にとめがんばります。続けて活動を行っていきます。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。
20	介護者	人に伝えられるように話すことは難しいと感じていましたが、痛感しました。丸暗記で覚えるではなく、ちゃんと説明できるようになりたい。場面では言っても①では思い出せないことがあるので、しっかり自分に中に入れたいと思えます。しっかり継続して練習していきます。ありがとうございました。	

21	介護職、ケアマネ	定期的に練習を重ねてきたので、気を付ける所やポイントが分かってくるようになっていましたが、自分自身の姿勢、体の使い方が、上手にできていない事がチェックを受けてよく分かりました。先生たちにアドバイスを受ける事で、自分が理解できていなかった動作などの意味も少しわかるようになり厳しくしてもらってありがたかったです。伝える力をもっとつけたいと思いますので、これがスタートと思って、練習を続けたいと思います。ありがとうございました。	
22	リハ職(主任)	自分の欠点を指摘していただき伝えるポイントがよく分かりました。質問時間もほしかったです。	
23	介護職(相談員)	大変勉強になりました。大変大変お世話いただいた事務局大山様はじめ皆様に感謝しかありません。みなさまのあたたかさ、熱さを感じまた頑張れる気になりました。まだまだ勉強は必要です！	もっともっと広げていきたいです。地域に今一人しかいない？ので、困った時は相談に乗ってください。参加費ありのフォローアップ研修などがあると嬉しいです。
24	介護職	今さらですが、ノーリフトケアを行う意味を再確認できました。これからも学びを続けていきます。	次回の認定チェックも参加します。
25	リハ職	人に対して伝える時、まだまだできてないことに改めて気づきました。	技術研修だけでなく、マネジメント研修もお願いします。
26	リハ職	今まで自分がやっていた方法が不十分だった所に気付け修正できたことが良かった。今後より技術を高めたいと思いました。	
27	介護職	自分の実力不足とフィードバックをもっとしてほしいと感じた。	定期的に技術をみてほしい。
28	リハ職	時間に追われた感じがあった。説明、技術が浸透していないのか・・・。	
29	相談員	とても緊張しましたが、受け入れ自分の足りない所を理解する事ができました。	自分達だけの自己研鑽だけでは、間違った方法で進んでしまいかもしれないので、フォローアップ研修で研鑽していきたい。